

渡辺将議員

第1 標題「新総合体育館建設について」

1 回目の質問

ただいま、議長より許可を頂きましたので令和5年9月定例会において「新総合体育館建設について」質問させていただきます。

私は今回建設する新総合体育館は現鐘山総合体育館のような使い勝手の悪い建物にしてはいけないと考えます。富士吉田市では6月に基本構想(案)を公表しましたが、メインアリーナの広さ、武道場の設置など体育館に必要な施設についてまだ議論が煮詰まっていないと感じたからです。

市長は前回の私の一般質問の中で「本市の人口の推移や財政状況を鑑みる中で現在の体育館と同規模での建設の方向性である。」と答弁しましたが、本当にそれで市民が納得するのでしょうか。アンケート調査、各種競技のヒアリングの結果ではもう少し規模の大きな体育館を市民が望んでいるように私は感じました。

また、市長は「県立富士北麓公園があり非常に恵まれたスポーツ環境である。」とも言っておりましたが、果たしてそうなのでしょうか。富士北麓公園は市内中心部からは非常に遠く、標高差があり、自転車ではなかなか行けない場所に建設されています。様々な団体の人たちに聞いても、「遠い、できれば使いたくない」、「夜はシカが出たりして危ない」と言った意見もあります。また、「できれば鐘山体育館の使い勝手をよくしてもらいたい」との意見の方が多いです。市民はこの新体育館の建設に興味を持ち期待をしております。

また、富士北麓公園内には柔道が出来る施設がありません。わざわざ御坂峠を越え、甲府方面の施設を借りて練習会や試合を行っています。

この新体育館は市民の税金で建設し、市民が利用する為に作る施設です。市民が納得する施設にしなければなりません。

市長はご自身の公約の中でも新総合体育館は「使いやすく快適な設備にし、生きがいつくりに対応できる施設にする。」と述べています。

1つ目の質問です。

市長は前回同様に現在の体育館と同規模の体育館を建設するおつもりですか。現時点のお考えをお聞かせください。

以前から私は「稼げる体育館を建設したら」と考えています。それは昨年の9月の定例会で述べたいわゆる「ミュージアム型アリーナ」の設置です。体育館で行われる競技はもちろんのことイベント会場として利用できる体育館です。周りの町村にはイベントができる立派な施設があり観光の目玉になっております。わが市でもこの新体育館をその様な施設にしようではありませんか。そのためにも音響を十分にし、メインアリーナの広さをバスケットボールコート3面と観客席1500席以上をお願いしたいです。このような施設が完成すれば、この暑い時期に行われる各種大会やイベント会場として、暑い国中よりも断然涼しい富士山の裾野にある富士吉田市のこの施設を利用するでしょう。そのことで、市民のみならず他の市町村の方々にも利用されるような魅力ある体育館に作り上げたら良いと私は考えています。

わが市は6月30日に稼げるまちづくりのシンボルとして「株式会社ふじよしだまちづくり公社」を設立しました。5月24日に市議会議員の先生と市の職員で茨城県境町に研修に行ってきました。境町では町が作った施設を公社が運用して利益を出し、町に還元していると我々は学んできました。

2つ目の質問は、富士吉田市もイベント会場として利用できる体育館を建設し「株式会社ふじよしだまちづくり公社」に運用を任せ、利益を上げ、市に還元する。市長はこのような考えをもっているのかお聞かせください。

3つ目の質問は、7月18日、山梨県から公益財団法人日本スポーツ協会、及び文部科学省（スポーツ庁）に対して、第86回（2032年）国民スポーツ大会開催要望書が提出され、8月24日には内定したとの報道がありました。冬季を除くと、「かいじ国体」以来46年振りとなる国体です。つまり9年後には山梨県で国体が開催されます。県内の既存の施設状況を鑑みると、十分な試合会場の確保が難しいように感じます。その為にもこの体育館の建設が必要だと私は考えています。

昨年の私の質問への市長の答弁では「新総合体育館は現在の体育館より規模を大きくする必要はない。必ずしも関東大会や全国大会を開催する必要はない」とおっしゃっていました。この状況でも考え方は同じですか。市長の現在の考えをお聞かせください。

以上で1回目の質問を終わります。

1 回目の市長答弁

渡辺将議員の新総合体育館の建設についての御質問にお答えいたします。

まず、1点目の体育館の規模についてであります。現在、新体育館建設基本構想を策定し、続いて基本計画策定に向けた業務を進めているところであります。

新体育館建設基本構想では、市民やスポーツ団体等へのアンケート調査を実施し、その調査結果を基に新体育館の整備に対する課題を整理した上で、外部委員を含めた新体育館建設検討委員会において検討を重ね、基本コンセプト、整備方針、施設計画に関する考え方等の取りまとめをさせていただきました。

この基本構想では、「市民スポーツの競技力を向上し、だれでも気軽に健康づくりを楽しみ、スポーツを通じたつながりを感じられる市民の元気の源となる拠点」を基本コンセプトに、新体育館を生涯スポーツの活動拠点としてのみならず、誰もが集え、地域コミュニティの場として利用される、魅力ある施設となるよう整備を進めるものであります。

施設計画に関する考え方といたしましては、山梨県富士北麓公園との機能分担を図り、練習試合や市民大会等の開催など、主に市民が利用することを想定しております。また、現総合体育館と同等の機能を確保し、これまで不足していた専用の会議室やキッズスペース等の導入、障害者を含む子どもから高齢者までの全ての利用者が快適に利用できるような、ユニバーサルデザインに配慮した施設とするべく検討してまいりたいと考えております。

これらの基本コンセプト、整備方針、施設計画を基にした各フロアの規模や観客席数などの具体的な内容につきましては、引き続き新体育館建設検討委員会において検討を進め、新体育館基本計画を策定してまいります。

次に、2点目の「まちづくり公社の運用」についてであります。渡辺将議員御発言のとおり、ふじよしだまちづくり公社は「稼げるまち」の具現化を目的として様々な事業に取り組むために設立いたしました。まずは、「まちづくり事業」、「地域商社事業」、「ふるさと納税支援事業」の3つの事業を柱として最優先に進め、徐々に他の事業へと業務を拡大する考えであります。渡辺将議員も御視察いただいた茨城県境町の人工サーフィン施設やBMXなどを楽しめるスポーツ施設につきましては、株式会社さかいまちづくり公社へ運営を委託しているのではなく、スポーツ施設の運営に長けた民間企業に運営を委託していると伺っております。

本市においても、専門のノウハウを持つ団体や企業等との連携を含め、市民の元気の源になる拠点として、市民の皆様にとって最適な運営ができるよう検討してまいります。

次に、3点目の国民スポーツ大会を開催するための規模についてであります。新体育館の建設は、国民スポーツ大会などの大会開催を前提とせず、基本構想及び基本計画を基に整備を進めてまいります。

以上、答弁といたします。

2回目の質問

新総合体育館建設について2回目の質問をさせていただきます。

市長の1回目の答弁では、メインアリーナの広さはまだ決まっていないと理解しました。そしてまだまだ議論の余地があると解釈しました。是非、多くの市民が求めているバスケットボールコート3面の広さのメインアリーナとそれに相応しい観客席の設置をお願いします。また、スポーツをしている市民は関東大会・全国大会として利用できる体育館を、それ以外の市民はイベント会場と利用できる体育館を求めています。

さて、1回目の質問の中で私は武道場の設置についてお聞きしましたが、それについて何も回答がありませんでしたので、再度質問させていただきます。

基本構想(案)の中で、新体育館の導入機能の想定では、武道場の設置が記載されていませんでした。本当にそれでよいのでしょうか。多くの市民は武道場の設置に期待しています。

昔から富士吉田市は剣道・空手・柔道など武道が盛んな街です。

剣道は県内でトップクラスを常に維持し、大人から子供まで稽古に励んでいます。市制祭の大会には約500人の選手が出場します。

空手は多くの子供達が稽古に励んでいます。そして世界チャンピオンや国体優勝者も出しています。

柔道は小・中学生は常に県内ではトップを維持しています。市制祭大会には約200人の選手が出場します。また、近年富士学苑柔道部は日本一に何度もなっています。そして、富士学苑柔道部出身の舟久保遥香選手がパリ2024夏季オリンピックの女子

柔道日本代表の内定しました。来年の夏は市民が金メダルを期待して盛り上がるに違いありません。

こんなに武道が盛んな街に武道館、そして武道場が一つも無いのは不思議ではありませんか。

近隣の町村では鳴沢村と西桂町に武道館があります。

私は武道場の設置についてこんな考えを持っています。

仮に新体育館に柔道場・剣道場を別々に設置すれば、剣道場は剣道・空手・卓球・ダンス・スポーツ教室などに利用が出来ます。また、柔道場は避難所になった場合多くの方々が横になるスペースとして利用ができます。

別々の設置が無理ならば武道場に柔道の試合場を2面取れる大きさに設計して頂きます。昼は倉庫に保管して使用する時だけ敷いて使います。そして、普段は剣道・空手・卓球・ダンス・スポーツ教室などの多目的に使える施設にしたらいかがでしょうか。

私は国体の監督や選手として全国津々浦々の体育館や武道館を見て参りました。その様な方法で施設を有効的に活用している体育館や武道館が数多く見受けられました。

新たに武道館の建設は出来ないと思います。どうか新総合体育館内に武道場を設置してください。

武道場の設置について建設検討委員会では議論はなされましたか。

市長は新総合体育館内に武道場の導入を検討していただけるのか。今のお考えをお聞かせください。

以上で2回目の質問を終わります。

2回目の市長答弁

渡辺将議員の2回目の御質問にお答えします。

新総合体育館内への武道場の設置についてであります。現在、下吉田コミュニティセンターに格技場があるほか、明見中学校武道場、吉田中学校武道場を一般の方が利用できるよう開放しております。特に下吉田コミュニティセンターや明見中学校につきましては、令和3年度に改修工事を実施し、より快適に利用できる環境を整えており、日頃から剣道、空手、柔道などの団体等多くの皆様に御利用いただいております。

このような状況を踏まえるなかで、新体育館建設検討委員会において議論を重ね、多目的室等を剣道、空手、柔道等の競技で活用できるようにすることで、武道場の機能をもたせるとともに、他の様々なスポーツや運動に限らず、研修会等の利用にも対応できる使い勝手の良い施設となるよう検討してまいります。

いずれにいたしましても、新体育館建設検討委員会におきまして引き続き検討を進め、多様化する市民ニーズに対応できる新体育館の整備を進めてまいります。

以上、答弁といたします。

3回目の質問

新総合体育館建設について3回目の質問をさせていただきます。

市長が2回目の答弁で『新体育館建設検討委員会において議論を重ね、多目的室を剣道、空手、柔道等の競技で活用できるようにすることで武道場の機能をもたせる』との答弁を頂きました。本当に良い方向に話がまとまる事を期待しております。

しかしながら、富士吉田市の現状では柔道の試合ができる施設が無いことは事実です。公式戦の試合会場の広さは120畳です。改修して快適になった下吉田コミュニティセンターの柔道場の広さは90畳です。また、明見中学校と吉田中学校の柔道場は柔道の授業を行うには十分な広さだと思いますが、試合を行うのには十分な広さとは言えません。はっきり言って狭いです。

中学生の試合は下吉田コミュニティセンターで行っていますが、場外の広さが一畳しかなく、すぐに板の間になっています。試合中選手が勢い余ってその板の間に投げられる場面を何度も見てきました。過去の大会では負傷者も出ております。そのような場所で柔道の公式戦を行っているのが現状です。是非ともそのことを理解してください。そして、新体育館内に安全に柔道の試合ができる施設を作ってください。

また、市長が答弁の中で「多目的室等をいろいろな競技等で利用できる施設にする」と言っておられました。それならば、その利用価値を更に高めるために観客席を設置したらどうでしょうか。ダンスの発表会や武道の試合会場として使える施設になります。

再度、市長にお聞きいたします。多目的室は柔道の公式戦ができるような施設にしたいだけですか。そして、観客席を設置して他の競技でも発表会や試合ができる施設にして頂けますか。市長の考えをお聞かせください。

以上で3回目の質問を終わらせて頂きます。

3回目の市長答弁

渡辺将議員の3回目の御質問にお答えします。

多目的室は、柔道に限らず様々な用途での利用を想定して検討を進めております。柔道等の公式戦が開催可能な規模につきましては、多目的室を含めた新体育館全体の機能を勘案する上で、新体育館建設検討委員会におきまして協議してまいります。

また、多目的室の観客席につきましては、用途に応じてパイプ椅子などを使用することを想定しているため、設置は考えておりません。

以上、答弁といたします。

「締めの言葉」

今回は新総合体育館建設について質問をさせて頂きました。

現行の同規模で体育館を建設した場合、快適性は向上しますが利用価値が上がるとは思いません。

利用価値を上げ、ランニングコストを減らす為にもメインアリーナの広さはバスケットボールコート3面が必要です。是非とも今からこの富士吉田市を担っていく子供たちへの贈り物として新総合体育館を建設してくださる事を切にお願い申し上げまして、私の一般質問を終わります。